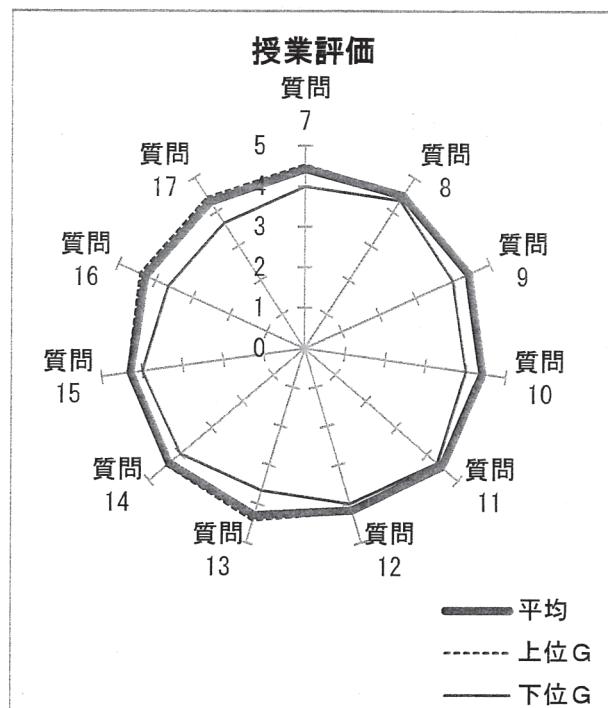


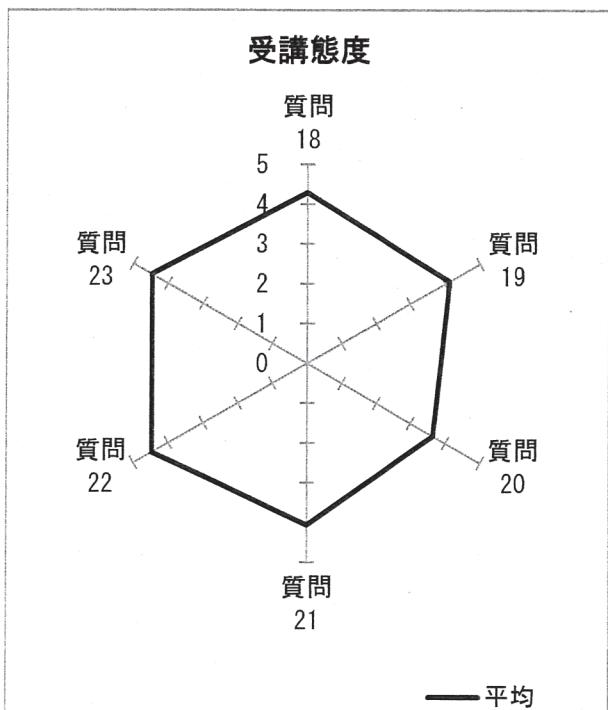
# 科目コード 300 (2017年度 前期)

文学部 人間関係学科 加来 秀俊 学習心理学



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.4	4.5	4.0
質問 8	4.5	4.5	4.3
質問 9	4.4	4.5	4.0
質問10	4.4	4.5	4.0
質問11	4.5	4.5	4.3
質問12	4.2	4.2	4.0
質問13	4.3	4.4	3.7
質問14	4.4	4.4	4.0
質問15	4.3	4.4	4.0
質問16	4.3	4.4	3.7
質問17	4.3	4.4	3.7
平均	4.4	4.4	4.0

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施  
 質問 8 : 教員の授業時間遵守  
 質問 9 : 教員の話し方  
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用  
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ  
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）  
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応  
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映  
 質問15 : （自分は）授業を理解できたと思うか  
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか  
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.3
質問19	4.1
質問20	3.6
質問21	4.1
質問22	4.5
質問23	4.5
平均	4.2

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか  
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか  
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3...)  
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか  
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか  
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学部名	学科名	担当者名	科目名	履修者数
文学部	人間関係学科	加來 秀俊	学習心理学	14名

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

## I. 分析と評価

学習心理学は、生得的な行動と学習による行動の違いを理解した後、条件づけのしくみを通して学習の基本的な原理を学び、動機づけや学習性無力感などの話題をもとに、日常生活と関連づけて学習について考える、という内容で授業を展開していった。

授業評価の内容を見ると、上位グループの評価の平均点は4.4で、いずれの質問においても4.2から4.5点で比較的高い評価である。下位グループの評価の平均値は4.0点であり、4点台の評価が多いものの、質問13、16、17では3.7で3点台の評価である。

受講態度の評価も、質問20の欠席回数において3.6と3点台であるが、その他の質問項目においては4点台で、比較的受講態度も良かったことがわかる。

## II. 2018年度に向けての取り組み

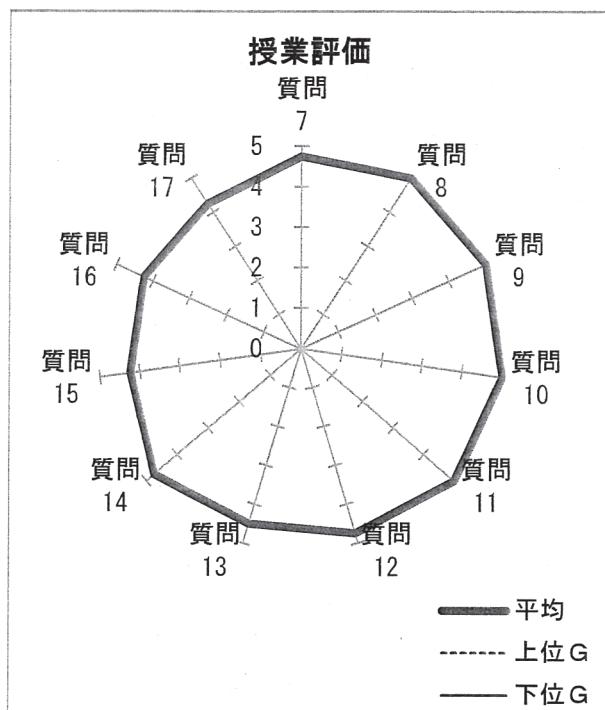
2018年度担当予定科目名：学習心理学

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

基本をしっかりと理解させたうえで、日常生活との関連で深く考えさせるような授業を展開していくことが望ましい。

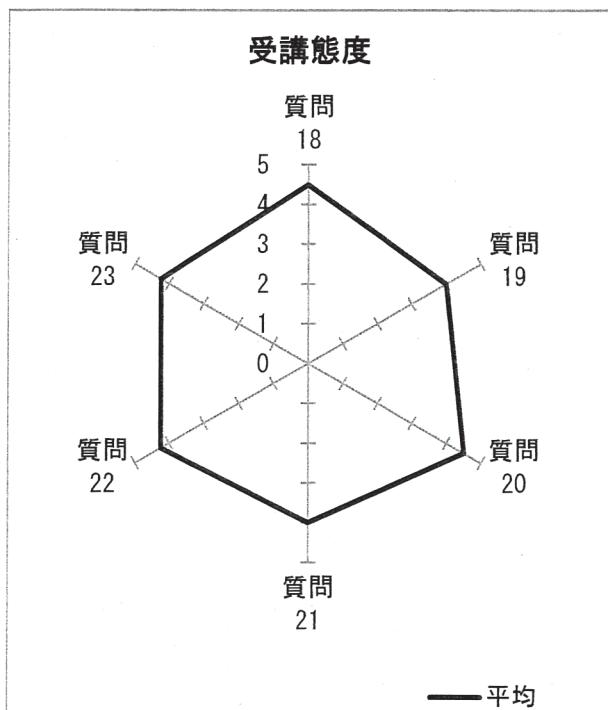
科目コード 301 (2017年度 前期)

文学部 人間関係学科 加来 秀俊 心理統計学 I



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.8	4.8	#DIV/0!
質問 8	5.0	5.0	#DIV/0!
質問 9	5.0	5.0	#DIV/0!
質問10	5.0	5.0	#DIV/0!
質問11	5.0	5.0	#DIV/0!
質問12	4.8	4.8	#DIV/0!
質問13	4.5	4.5	#DIV/0!
質問14	4.8	4.8	#DIV/0!
質問15	4.3	4.3	#DIV/0!
質問16	4.3	4.3	#DIV/0!
質問17	4.3	4.3	#DIV/0!
平均	4.7	4.7	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施  
 質問 8 : 教員の授業時間遵守  
 質問 9 : 教員の話し方  
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用  
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ  
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）  
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応  
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映  
 質問15 : （自分は）授業を理解できたと思うか  
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか  
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.5
質問19	4.0
質問20	4.5
質問21	4.0
質問22	4.3
質問23	4.3
平均	4.3

- 質問18 : （自分は）授業に真面目に取り組んだと思うか  
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか  
 質問20 : 欠席回数（0回→5ポイント、1回→4、2回→3…）  
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか  
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか  
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学部名	学科名	担当者名	科目名	履修者数
文学部	人間関係学科	加來 秀俊	心理統計学 I	6名

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

## I. 分析と評価

心理統計学 I では，“記述統計”の理解と活用を目標に授業を展開している。心理統計学の基礎を習得することで、心理学の論文を読んで理解すること、自分で収集したデータの統計処理ができるようになることを目指している。

受講対象として1年生から設定されているので、多くの学生は1年次に受講している。しかし、心理学全般に馴染んでいないため、なぜ統計処理が必要なのかが実感できていない受講生も多い。

今年度は新入生の数が少なく、受講生もわずか6名であり、そのうち1名は欠席が多く失格となっている。したがって、単位を取得できた学生は5名であった。

受講生数の関係で、受講態度上位グループと下位グループとの区分ができていない。授業評価のグラフを見ると、平均は4.7であり全体として高評価となっている（4.3から5.0）。少人数であったため、学生の理解度を確認しながら授業を展開することができたためであると思われる。

受講態度に関してみると、最低でも4.0で最高は4.5であり、平均が4.3であった。この結果も、少人数で授業を進めることができたためであろう。

## II. 2018年度に向けての取り組み

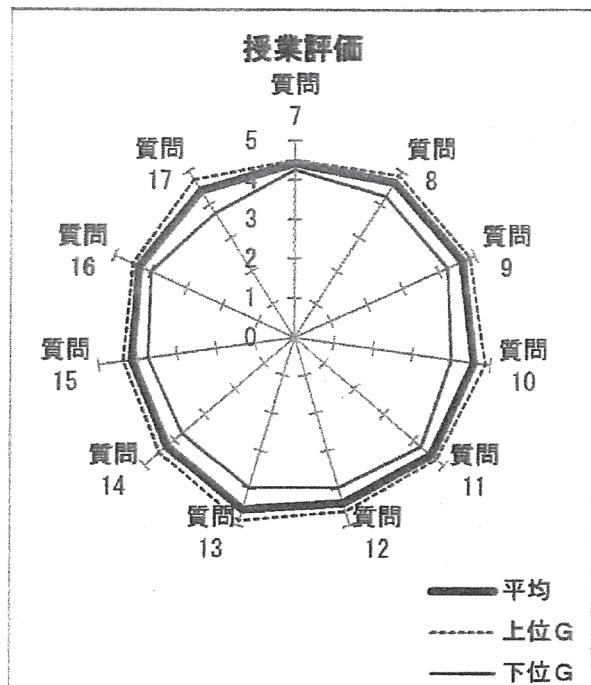
2018年度担当予定科目名：心理統計学 I

（同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。）

心理統計学が必要な理由を十分に理解させること。またパソコンを活用して統計処理に馴染む工夫が必要になるであろう。

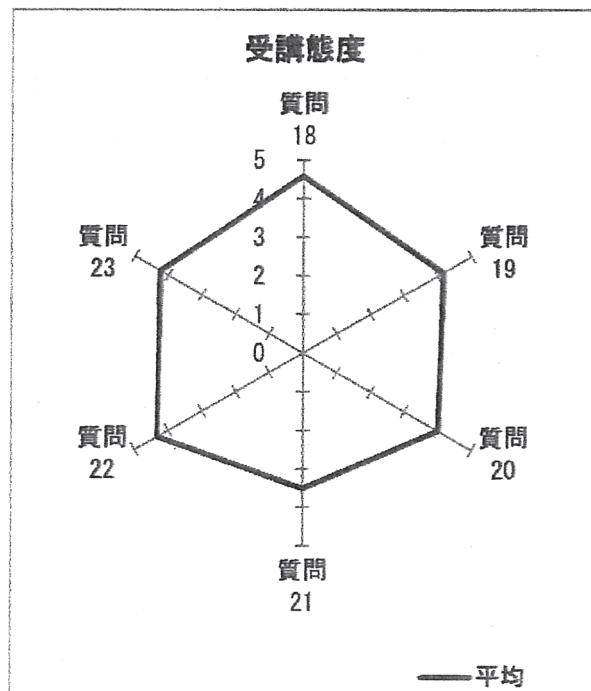
科目コード 320 (2017年度 前期)

文学部 人間関係学科 園井 ゆり 社会学概論 I



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.4	4.5	4.3
質問 8	4.7	4.9	4.3
質問 9	4.7	4.9	4.3
質問10	4.6	4.9	4.0
質問11	4.6	4.8	4.3
質問12	4.4	4.6	4.0
質問13	4.6	4.9	4.0
質問14	4.3	4.5	3.8
質問15	4.2	4.4	3.8
質問16	4.3	4.5	4.0
質問17	4.4	4.8	3.8
平均	4.5	4.7	4.0

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : （自分は）授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.6
質問19	4.2
質問20	4.0
質問21	3.5
質問22	4.3
質問23	4.3
平均	4.1

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学部名	学科名	担当者名	科目名	履修者数
文学部	人間関係	園井ゆり	社会学概論 I	18

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

## I. 分析と評価

### I. 分析と評価

#### 1) 授業評価

今回、社会学概論Iでの講義テーマは、配偶者選択と結婚に関する社会学的考察である。近年、アメリカやヨーロッパの先進地域で同性婚が認められるようになるなど、結婚形態が多様になってきている。本授業では、結婚形態の多様化は、家族の形成にどのような影響を及ぼすかを理論的観点から解説した。全体的傾向として、いずれの質問項目も平均値がおおむね4.5以上であり、良好な授業が展開できたのではないかと推察される。今回、特に評価された項目として、問8「教員の授業時間厳守」、問9「教員の話し方」、問10「教材・機器・板書などの効果的な使用」、問11「教員の説明のわかり易さ」、問13「質問機会の確保と質問への適切な対応」などが挙げられる。特に、問13については、前回の授業評価において、課題点の1つであったため、評価できる点である。ここからは、おおむね効果的な授業を進めることができたのではないかと考える。

一方で、改善が必要な項目として、問15「(自分は)授業を理解できたと思うか」、問16「授業は興味・関心・意欲を引き出したか」についてはそれぞれ4.2と4.3であり、改善の必要がある。改善案として、問15については、質問の機会をさらに充実させ、学生からのフィードバックや、学生のコメントを取り入れる等行いたい。問16については同性婚の実態について取り上げたVTRや新聞記事等をさらに活用することで、視覚に訴える方法で授業を進めていきたい。

#### 2) 受講態度

受講態度については、ほとんど全ての項目で4点台であった。例えば、問18「(自分は)授業に真面目に取り組んだと思うか」、問22「レポート・課題に積極的に取り組んだか」、問23「私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴」においていずれも4点以上であった。一方、問21「授業の予習・復習をおこなったか」は3点台にとどまった。受講態度と授業評価とを関連させて考えると、メディア等を活用し、学生の関心を喚起するような課題を出すことで自発的に学習する機会を増やす、グループワークを取り入れ、ディスカッションを設けるなどを行い、学生とともに授業を構築していく必要性があることが推察された。

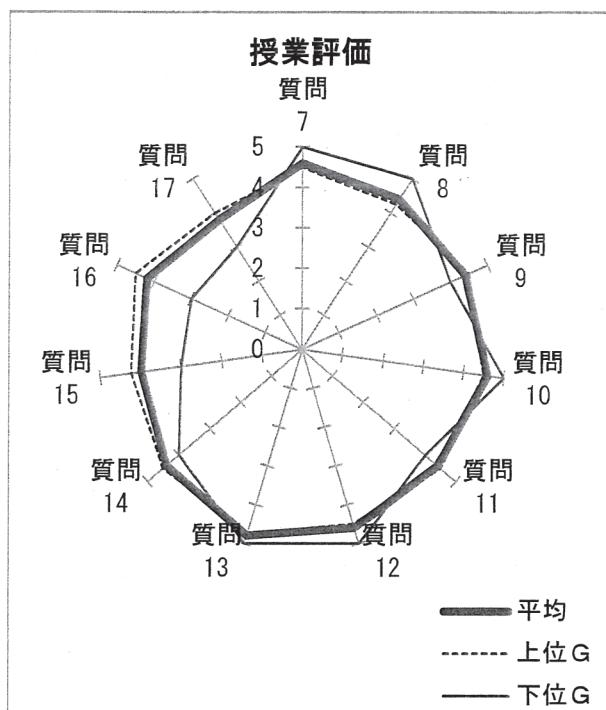
## II. 2018年度に向けての取り組み

2018年度担当予定科目名： 社会学概論 I

2018年度は特に「授業評価」において、平均値の低かった項目に関し、努力研究を行い、授業運営のさらなる向上を目指したい。学生の理解度をはかりながら授業の難易度や授業の分量を考えるなど、学生の主体的な学びに力点をおき、学問に対する意欲を喚起するような授業運営を試みる。そのためには、新聞記事やニュースの話題、時事に関するディスカッションをはじめるなど、学生の興味を喚起できるような授業運営を志したい。

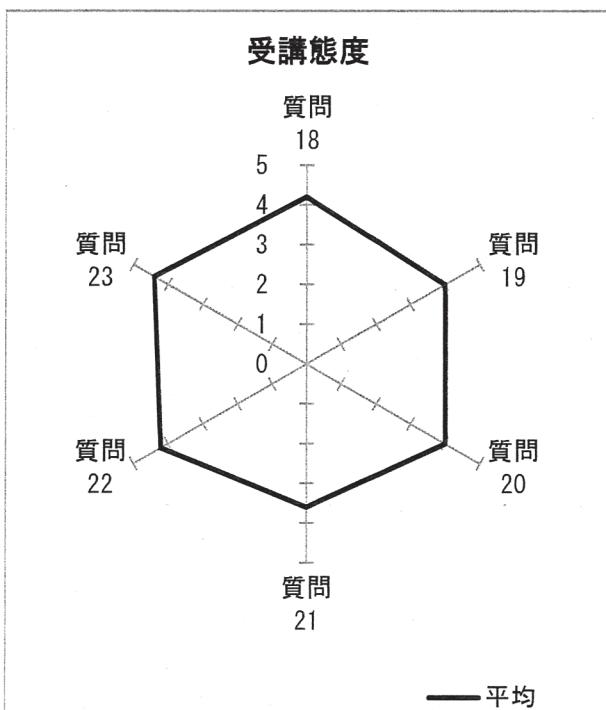
科目コード 331 (2017年度 前期)

文学部 人間関係学科 細井 浩志 日本史講義 I



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.6	4.5	5.0
質問 8	4.4	4.3	5.0
質問 9	4.4	4.5	4.0
質問10	4.6	4.5	5.0
質問11	4.4	4.5	4.0
質問12	4.6	4.5	5.0
質問13	4.8	4.8	5.0
質問14	4.4	4.5	4.0
質問15	4.0	4.3	3.0
質問16	4.2	4.5	3.0
質問17	3.8	4.0	3.0
平均	4.4	4.4	4.2

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施  
 質問 8 : 教員の授業時間遵守  
 質問 9 : 教員の話し方  
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用  
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ  
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）  
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応  
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映  
 質問15 : （自分は）授業を理解できたと思うか  
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか  
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.2
質問19	4.0
質問20	4.0
質問21	3.6
質問22	4.2
質問23	4.4
平均	4.1

- 質問18 : （自分は）授業に真面目に取り組んだと思うか  
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか  
 質問20 : 欠席回数（0回→5ポイント、1回→4、2回→3…）  
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか  
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか  
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学部名	学科名	担当者名	科目名	履修者数
文学部	人間関係学科	細井浩志	日本史講義Ⅰ	8

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

## I. 分析と評価

今年度も仏教史の概説をしました。

現代日本文化学科との同時開講学年が完全になくなり、2名は生活デザイン学科の学生でした。そのせいで前年度の26名から受講生が激減しています。全体に出席状況が悪かったです。

評価は微増ですが、人数が人数なので、そのまま受け取っていいことにはならないと思います。下位Gの質問15～17に関しては、前年度が3.6～4.0なのに、今回は全部3.0ですから、授業が余り理解できなかつたし、興味も大して引かなかつたということになります。全実施科目の平均とくらべても、この項目は低くでています。

一方、質問10では教材等の効果的な使用はしていると、下位Gに5.0と評価されているので、今後の対応はどうすればいいのか、よく考えなければなりません。

## II. 2018年度に向けての取り組み

2018年度担当予定科目名：日本史講義Ⅰ

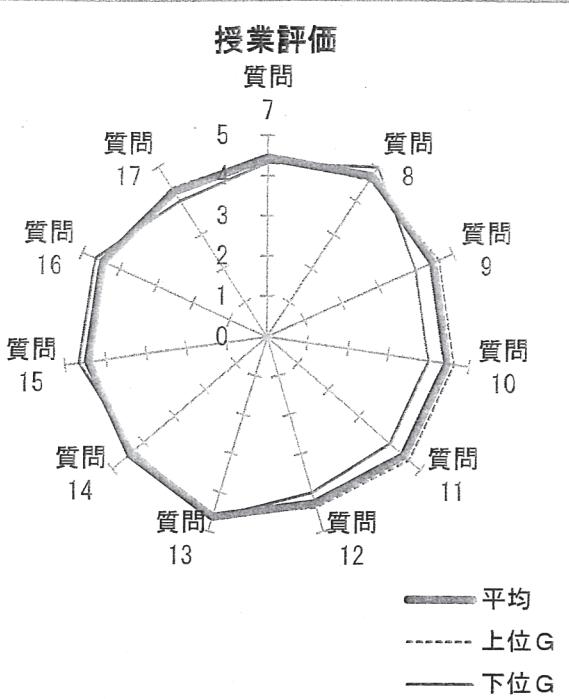
(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

仏教を含め、宗教を歴史的に説明しつつ、理解して貰う方法を新たに考えたいと思います。現代の問題との関わりは、引き続き強調したいと思います。

日常生活と宗教との関わりを探る方法を考える必要があるかもしれません。

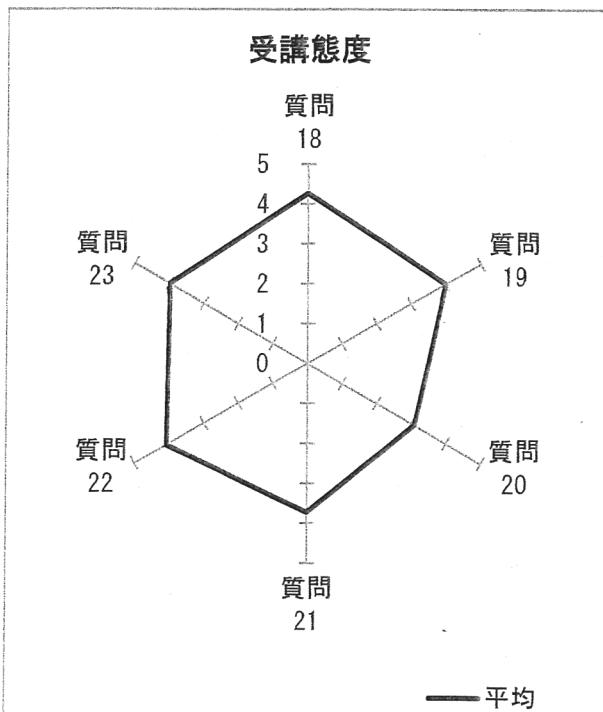
科目コード 340 (2017年度 前期)

文学部 人間関係学科 光富 隆 教育心理学



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.5	4.5	4.3
質問 8	4.7	4.6	5.0
質問 9	4.5	4.6	4.0
質問10	4.5	4.6	4.0
質問11	4.5	4.6	4.0
質問12	4.3	4.4	4.0
質問13	4.6	4.6	4.7
質問14	4.5	4.5	4.3
質問15	4.5	4.4	4.7
質問16	4.5	4.4	4.7
質問17	4.3	4.4	4.0
平均	4.5	4.5	4.3

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施  
 質問 8 : 教員の授業時間遵守  
 質問 9 : 教員の話し方  
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用  
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ  
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）  
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応  
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映  
 質問15 : （自分は）授業を理解できたと思うか  
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか  
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.3
質問19	4.0
質問20	3.1
質問21	3.7
質問22	4.1
質問23	4.0
平均	3.9

- 質問18 : （自分は）授業に真面目に取り組んだと思うか  
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか  
 質問20 : 欠席回数（0回→5ポイント、1回→4、2回→3…）  
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか  
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか  
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学部名	学科名	担当者名	科目名	履修者数
文学部	人間関係学科	光富 隆	教育心理学	18名

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

## I. 分析と評価

現状：授業評価に関しては、上位G、下位G、平均ともに4ポイントを上回り、それほど問題があるとは限らない。しかし受講態度に関しては、欠席回数の多さ、授業の予習・復習を行ったかに関しては特に得点が低い。

## II. 2018年度に向けての取り組み

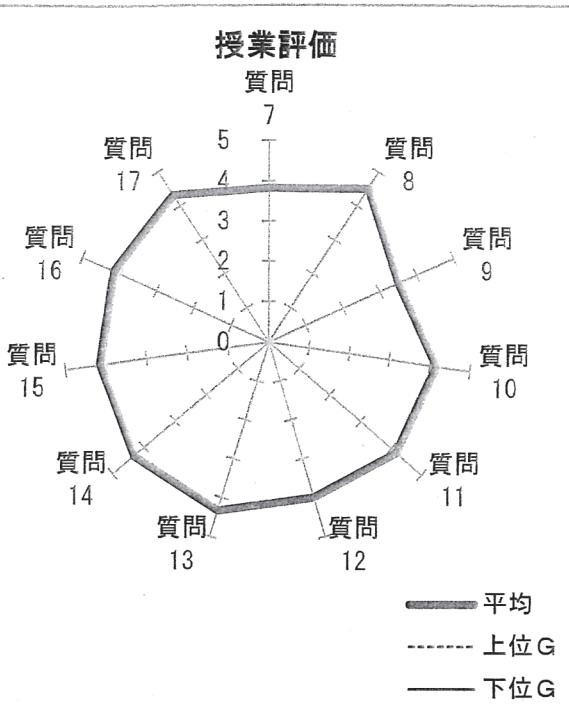
2018年度担当予定科目名：教育心理学

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

今後の取り組み：授業の予習・復習に関しては問題がある。予習に関しては、とりわけやる必要が無いが、復習はやってほしい。憶えなくてもよいので、授業終了後にでも配布されたプリントを見て、理解することをしてほしい。そして、わからないことがあれば質問してほしい。また、欠席回数に関しては、授業がおもしろくないので欠席するのであろう。授業の魅力度をアップさせる必要がある。

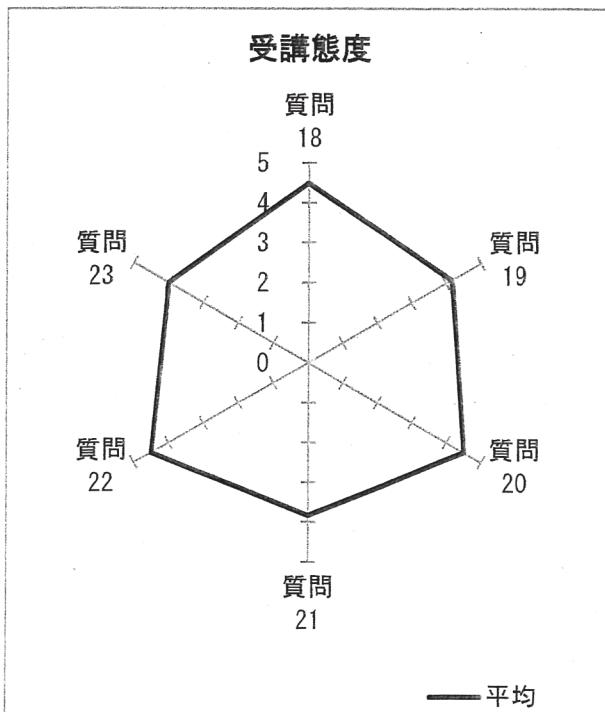
科目コード 341 (2017年度 前期)

文学部 人間関係学科 光富 隆 人間関係基礎論 I



質問項目	平均	上位G	下位G
質問7	3.8	3.8	#DIV/0!
質問8	4.5	4.5	#DIV/0!
質問9	3.5	3.5	#DIV/0!
質問10	4.2	4.2	#DIV/0!
質問11	4.2	4.2	#DIV/0!
質問12	4.0	4.0	#DIV/0!
質問13	4.3	4.3	#DIV/0!
質問14	4.3	4.3	#DIV/0!
質問15	4.2	4.2	#DIV/0!
質問16	4.2	4.2	#DIV/0!
質問17	4.3	4.3	#DIV/0!
平均	4.1	4.1	#DIV/0!

- 質問7：授業の目標説明とシラバスに沿った実施  
 質問8：教員の授業時間遵守  
 質問9：教員の話し方  
 質問10：教材・機器・板書等の効果的な使用  
 質問11：教員の説明のわかり易さ  
 質問12：教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）  
 質問13：質問機会の確保と質問への適切な対応  
 質問14：学生の理解度の確認と授業への反映  
 質問15：（自分は）授業を理解できたと思うか  
 質問16：授業は興味・関心・意欲を引き出したか  
 質問17：新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.5
質問19	4.2
質問20	4.5
質問21	3.8
質問22	4.5
質問23	4.0
平均	4.3

- 質問18：（自分は）授業に真面目に取り組んだと思うか  
 質問19：授業内容や到達目標を理解して受講したか  
 質問20：欠席回数（0回→5ポイント、1回→4、2回→3…）  
 質問21：授業の予習・復習をおこなったか  
 質問22：レポート・課題等に積極的に取り組んだか  
 質問23：私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学部名	学科名	担当者名	科目名	履修者数
文学部	人間関係学科	光富 隆	人間関係基礎論 I	7名

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

## I. 分析と評価

現状：授業評価に関しては質問9、教員の話し方をのぞいてそれほど問題を感じない。受講態度に関しては、授業の予習・復習をおこなったかという質問で得点が低い。それ以外はそれほど問題を感じない。

## II. 2018年度に向けての取り組み

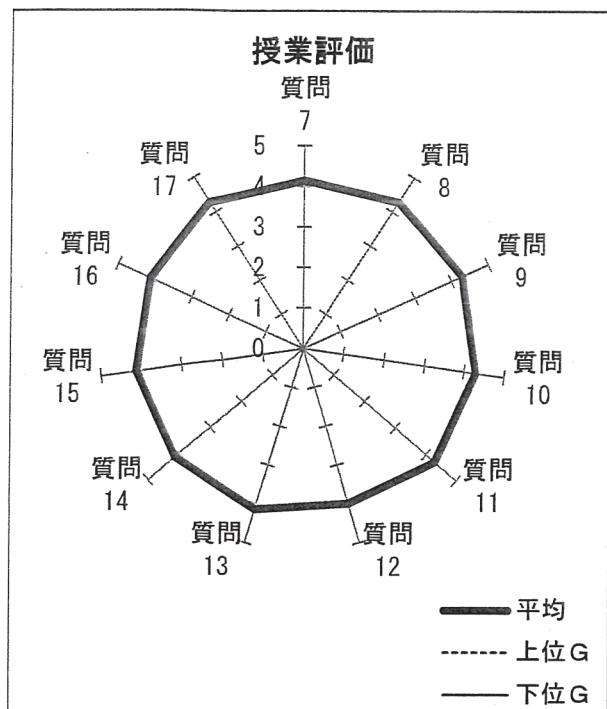
2018年度担当予定科目名：\_\_\_\_\_

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

今後の取り組み：授業評価で教員の話し方の問題がでた。早口でしゃべったため、内容を十分に理解できなかったのだと思う。今後、一語一語ゆっくりとわかりやすくなるようにしゃべっていきたい。また、上記の教育心理学と同様に予習・復習の問題があがった。これも先に記述したのと同様に、授業の予習・復習を行ったかという質問で得点が低い。予習に関しては、とりわけやる必要が無いが、復習はやってほしい。憶えなくてもよいので、授業終了後にでも配布されたプリントを見て、理解することをしてほしい。そして、わからないことがあれば質問してほしい。

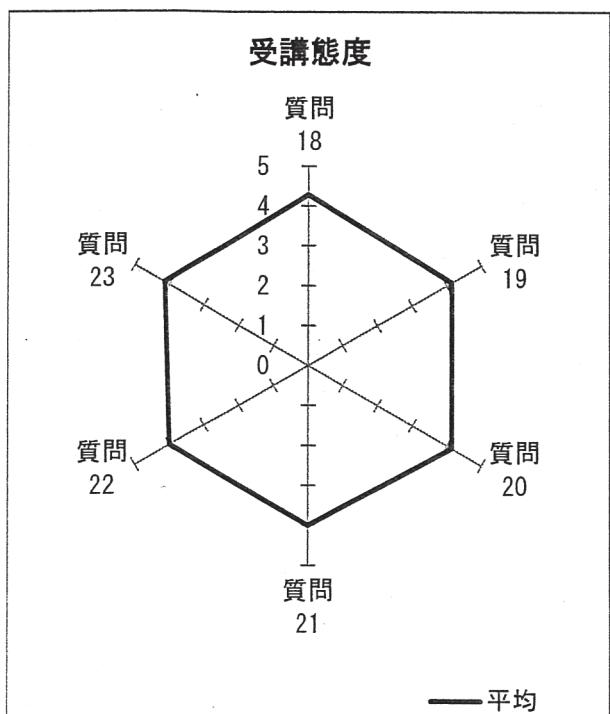
# 科目コード 350 (2017年度 前期)

文学部 人間関係学科 下川 達彌 社会教育計画



質問項目	平均	上位 G	下位 G
質問 7	4.1	4.1	#DIV/0!
質問 8	4.3	4.3	#DIV/0!
質問 9	4.3	4.3	#DIV/0!
質問10	4.3	4.3	#DIV/0!
質問11	4.3	4.3	#DIV/0!
質問12	4.0	4.0	#DIV/0!
質問13	4.1	4.1	#DIV/0!
質問14	4.1	4.1	#DIV/0!
質問15	4.1	4.1	#DIV/0!
質問16	4.1	4.1	#DIV/0!
質問17	4.3	4.3	#DIV/0!
平均	4.2	4.2	#DIV/0!

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施  
 質問 8 : 教員の授業時間遵守  
 質問 9 : 教員の話し方  
 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用  
 質問11 : 教員の説明のわかり易さ  
 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）  
 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応  
 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映  
 質問15 : (自分は) 授業を理解できたと思うか  
 質問16 : 授業は興味・関心・意欲を引き出したか  
 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.3
質問19	4.1
質問20	4.1
質問21	4.0
質問22	4.0
質問23	4.1
平均	4.1

- 質問18 : (自分は) 授業に真面目に取り組んだと思うか  
 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか  
 質問20 : 欠席回数 (0回→5ポイント、1回→4、2回→3…)  
 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか  
 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか  
 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学部名	学科名	担当者名	科目名	履修者数
文学部	人間関係学科	下川 達彌	社会教育計画	19名

2017年度後期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

## I. 分析と評価

講義内容の理解等を把握するために、次の講義時間に内容・要点・反省・その他の項目を設けた日誌（両面刷り・1枚もの）を提出してもらうこととした（自由参加）。その結果、本教科に対する関心と補足の自主研究などを把握することができ、そのつど日誌末尾の指導助言欄に書き込みを行った。

授業評価のグラフについては前年度の上下のバラツキがほとんど無くなり、効果をあげたものと考えている。又、受講態度も歪み無く6角形を提していることも成果として捉えられると思う。いずれも日誌によるものと考えている。

## II. 2018年度に向けての取り組み

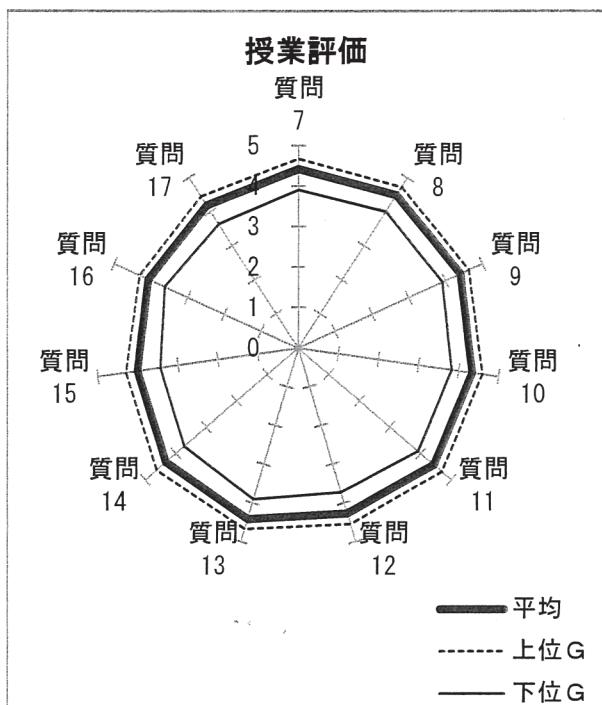
2018年度担当予定科目名：社会教育計画

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

日誌に書かれた自由研究の成果等を織り込んだ講義の展開が考えられる。研究発表（1回だけではなく継続した結果を）、受講者を含めてのディスカッション等が出来ればと思っている。

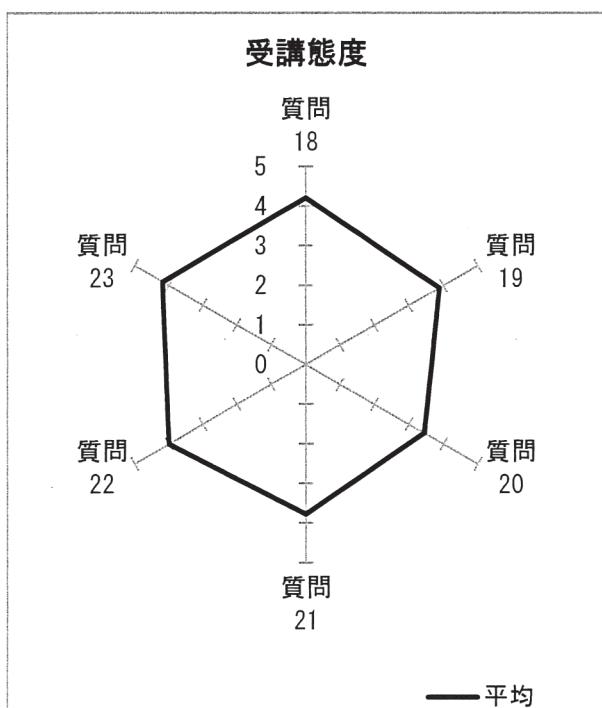
# 科目コード 360 (2017年度 前期)

文学部 人間関係学科 長尾 博 精神保健学 I・臨床心理学a



質問項目	平均	上位G	下位G
質問 7	4.4	4.7	3.9
質問 8	4.5	4.7	4.0
質問 9	4.4	4.6	3.9
質問10	4.3	4.6	3.8
質問11	4.4	4.7	3.9
質問12	4.3	4.5	3.7
質問13	4.4	4.7	3.9
質問14	4.3	4.6	3.7
質問15	4.0	4.3	3.5
質問16	4.1	4.3	3.6
質問17	4.2	4.5	3.6
平均	4.3	4.6	3.8

- 質問 7 : 授業の目標説明とシラバスに沿った実施
- 質問 8 : 教員の授業時間遵守
- 質問 9 : 教員の話し方
- 質問10 : 教材・機器・板書等の効果的な使用
- 質問11 : 教員の説明のわかり易さ
- 質問12 : 教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）
- 質問13 : 質問機会の確保と質問への適切な対応
- 質問14 : 学生の理解度の確認と授業への反映
- 質問15 : （自分は）授業を理解できたと思うか
- 質問16 : 授業は興味・关心・意欲を引き出したか
- 質問17 : 新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.2
質問19	3.9
質問20	3.4
質問21	3.8
質問22	4.0
質問23	4.2
平均	3.9

- 質問18 : （自分は）授業に真面目に取り組んだと思うか
- 質問19 : 授業内容や到達目標を理解して受講したか
- 質問20 : 欠席回数（0回→5ポイント、1回→4、2回→3…）
- 質問21 : 授業の予習・復習をおこなったか
- 質問22 : レポート・課題等に積極的に取り組んだか
- 質問23 : 私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学部名	学科名	担当者名	科目名	履修者数
文学部	人間関係学科	長尾 博	精神保健学Ⅰ・臨床心理学a	36名

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

## I. 分析と評価

反省：特殊な科目なので、その理解度ができていない点、その受講意欲の乏しさ、こんなことを知つて何の役に立つのかの疑問を1つ1つ答えていく必要がある。

## II. 2018年度に向けての取り組み

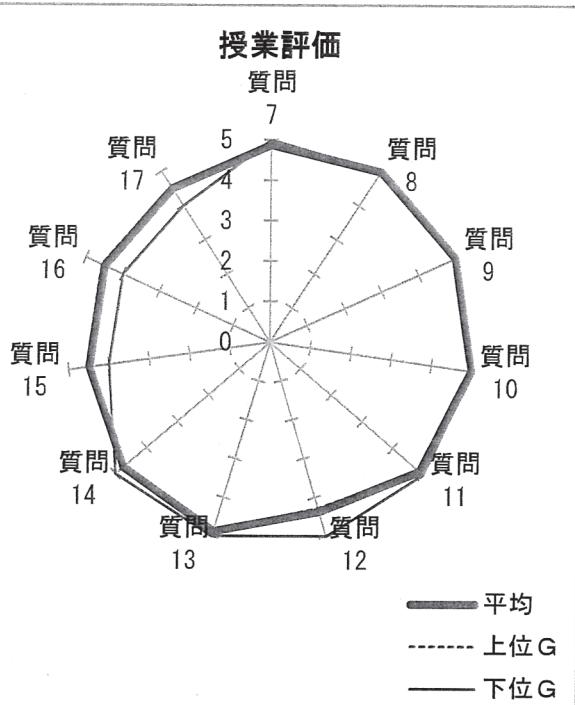
2018年度担当予定科目名：精神保健学Ⅰ

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

課題：学部も混合なのでその差を考慮して授業する必要がある。心が健康であるための予防と対策のための科目であることを明確に伝えるべきだろう。

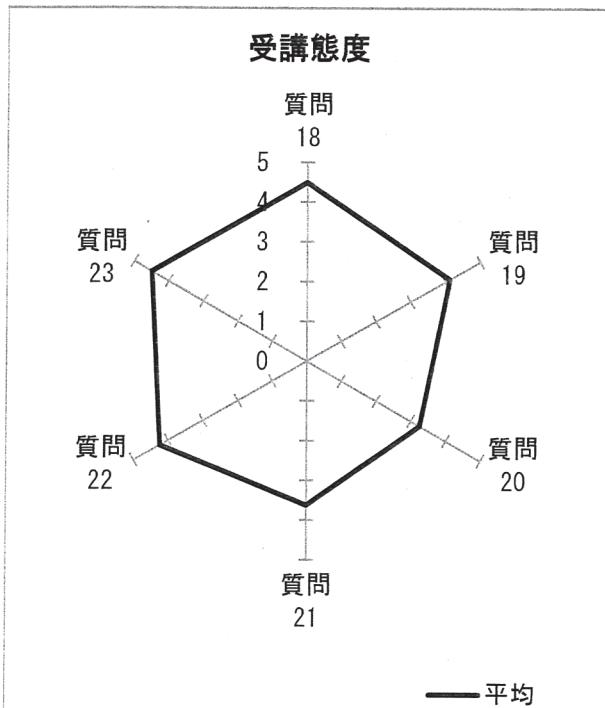
# 科目コード 361 (2017年度 前期)

文学部 人間関係学科 長尾 博 心理療法基礎演習 I



質問項目	平均	上位G	下位G
質問7	4.9	4.9	5.0
質問8	5.0	5.0	5.0
質問9	5.0	5.0	5.0
質問10	5.0	5.0	5.0
質問11	4.9	4.9	5.0
質問12	4.4	4.3	5.0
質問13	4.9	4.9	5.0
質問14	4.8	4.7	5.0
質問15	4.5	4.6	4.0
質問16	4.5	4.6	4.0
質問17	4.5	4.6	4.0
平均	4.8	4.8	4.7

- 質問7：授業の目標説明とシラバスに沿った実施  
 質問8：教員の授業時間遵守  
 質問9：教員の話し方  
 質問10：教材・機器・板書等の効果的な使用  
 質問11：教員の説明のわかり易さ  
 質問12：教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）  
 質問13：質問機会の確保と質問への適切な対応  
 質問14：学生の理解度の確認と授業への反映  
 質問15：（自分は）授業を理解できたと思うか  
 質問16：授業は興味・関心・意欲を引き出したか  
 質問17：新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.5
質問19	4.1
質問20	3.3
質問21	3.6
質問22	4.3
質問23	4.5
平均	4.0

- 質問18：（自分は）授業に真面目に取り組んだと思うか  
 質問19：授業内容や到達目標を理解して受講したか  
 質問20：欠席回数（0回→5ポイント、1回→4、2回→3…）  
 質問21：授業の予習・復習をおこなったか  
 質問22：レポート・課題等に積極的に取り組んだか  
 質問23：私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学部名	学科名	担当者名	科目名	履修者数
文学部	人間関係学科	長尾 博	心理療法基礎演習 I	14名

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

## I. 分析と評価

反省：特に問題はないが、私語をする学生がいる点かもしれない。

## II. 2018年度に向けての取り組み

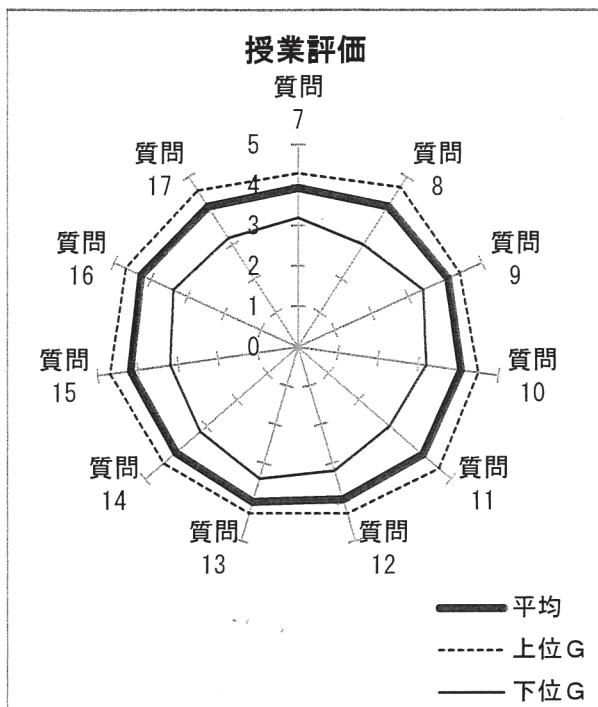
2018年度担当予定科目名：心理療法基礎演習 I

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

課題：ワークを行うことは本学科学生にとって意欲は高まるが、理論、漢字、計算、社会常識、学習意欲を高めることも大きな課題である。

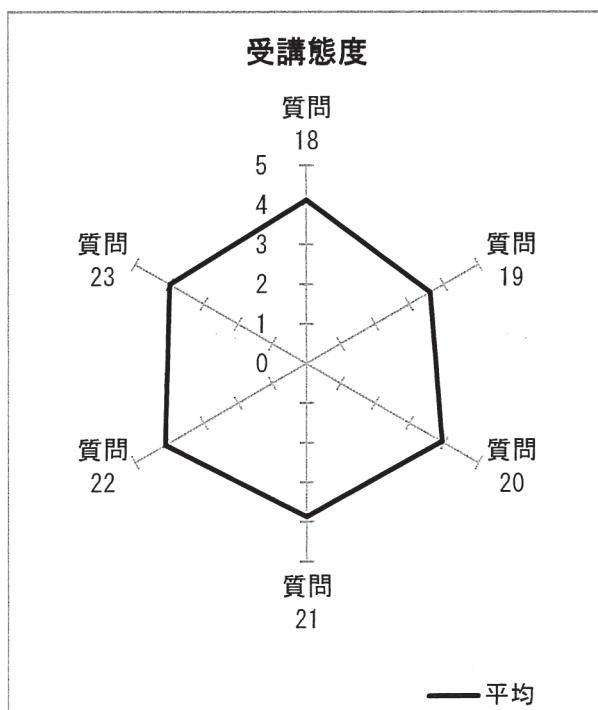
科目コード 362 (2017年度 前期)

文学部 人間関係学科 長尾 博 心理検査法



質問項目	平均	上位G	下位G
質問7	3.9	4.3	3.2
質問8	4.1	4.7	3.0
質問9	4.1	4.4	3.4
質問10	4.1	4.5	3.2
質問11	4.1	4.6	3.0
質問12	3.9	4.3	3.2
質問13	4.0	4.3	3.4
質問14	4.0	4.4	3.2
質問15	4.2	4.7	3.2
質問16	4.3	4.7	3.4
質問17	4.1	4.6	3.2
平均	4.1	4.5	3.2

- 質問7：授業の目標説明とシラバスに沿った実施  
 質問8：教員の授業時間遵守  
 質問9：教員の話し方  
 質問10：教材・機器・板書等の効果的な使用  
 質問11：教員の説明のわかり易さ  
 質問12：教員の授業環境に対する配慮（私語の注意等）  
 質問13：質問機会の確保と質問への適切な対応  
 質問14：学生の理解度の確認と授業への反映  
 質問15：（自分は）授業を理解できたと思うか  
 質問16：授業は興味・关心・意欲を引き出したか  
 質問17：新しい知識・技術・理論等の習得への有用性



質問項目	平均
質問18	4.1
質問19	3.6
質問20	3.9
質問21	3.9
質問22	4.1
質問23	4.0
平均	3.9

- 質問18：（自分は）授業に真面目に取り組んだと思うか  
 質問19：授業内容や到達目標を理解して受講したか  
 質問20：欠席回数（0回→5ポイント、1回→4、2回→3…）  
 質問21：授業の予習・復習をおこなったか  
 質問22：レポート・課題等に積極的に取り組んだか  
 質問23：私語・携帯電話等の自粛、教員及び他者の発言傾聴

学部名	学科名	担当者名	科目名	履修者数
文学部	人間関係学科	長尾 博	心理検査法	16名

2017年度前期授業評価アンケート集計結果：教員による分析・評価と2018年度に向けての取り組み

## I. 分析と評価

反省：質問8の教員の授業時間遵守は他の教員よりも遵守しているつもりだが、比較的早く終わるせいかもしれない。質問11の説明がわかりにくい、もありさらにわかりやすくする工夫が要る。

## II. 2018年度に向けての取り組み

2018年度担当予定科目名：心理検査法

(同じ、あるいは同様の科目を担当しない場合でも、新たな取り組みの可能性についてコメントする。)

課題：一部、臨床心理士の大学院受験を希望する学生がいるので、難しいことも触れるので、もっとやさしい説明をしたり、最後まで長く授業をする点を考えたい。